

一般質問者一覧表（第4回市議会定例会
令和2年9月29日、30日開議）

質問日	令和2年9月29日（火）			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	4	氏名	酒井 豊実
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 市民生活・中小企業・都市経営について	<p>(1) 昨年10月の消費税増税はコロナ禍の市民生活に深刻な影響を与えている。さらに、地域の中小企業景況は大きく悪化し、自動車関連の中小企業の約7割が9月の売上高を前年同月対比で減少と予想している。非正規労働者の雇い止めも6月以降顕在化した。部品製造の現場の苦境は続き、設備投資は控えられ関係業界の受注は途絶えようとしている。</p> <p>浜松市中小企業振興基本条例にのっとり、市長を先頭にして製造業をはじめ個別企業に訪問調査を行い、現場にさらに寄り添う支援策を推進すべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 業務の外部化（民営化・アウトソーシング）を新たな視点で見直すことが、2018年度浜松市都市経営諮問会議の答申書で重点的に指摘され、「民営化・アウトソーシングを進めると、市役所内に技術やノウハウが伝承されなくなる恐れがある」「市役所内に保持すべき技術・ノウハウに関する業務については、民営化やアウトソーシングの対象とすることは慎重に判断すべきである」と強く指摘されている。</p> <p>ア 昨年度の指摘に対する対処結果について伺う。</p> <p>イ 今年度以降の方針について伺う。</p>						鈴木市長
2 都市計画マスタープラン改定について	<p>都市計画マスタープランは、本市の近未来の骨格を示す上位計画で、下に幾つもの計画がある。市民参加の策定、7区単位の区民参加の策定が住民自治、市民協働の基本、定石である。そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) 改定案では、現行計画に詳細に記載されている「区別構想」が消えたが、その理由を伺う。</p> <p>(2) 8月4日夜に市役所北館、6日夜に浜北区役所で、2回の市民説明会が開催されたが、参加者は非常に少なかった。計画策定における市民参加の考え方について伺う。</p>						大村都市整備部長
3 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>第3波と冬への備えとして、以下2点伺う。</p> <p>(1) PCR検査の重点的拡大について、医療・介護・福祉関係者を最優先に全員の定期検査体制が必要と考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 介護施設や在宅で介護が必要な人が陽性になった場合、入院先は確保されているのか伺う。</p>						西原保健所長 鈴木医療担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
4 図書館ビジョンの実行について	<p>(1) 指定管理者制度で、地域の特性に応じた継続性のある地区図書館運営ができるか伺う。</p> <p>(2) 中央図書館の全館マネジメント能力向上と指定管理者制度による地区図書館運営は共存できるか伺う。</p> <p>(3) ブックスタート事業の現状と改善について、事業の対象を現行の8か月児～1歳児以下からさらに低年齢化して、母子保健・子育て支援と密接に連携することが必要ではないかと考えるがどうか伺う。</p>	中村文化振興 担当部長
5 公共施設・インフラの防災について	<p>(1) 国道152号（秋葉トンネル～大輪橋）の道路防災を最優先した急傾斜地等の総合的防災対策について、天竜川沿いに位置する国道152号は、地域の暮らしと経済、広域交流を支える重要な基幹道路であるが、一昨年に続き、本年度も7月豪雨によるのり面崩壊、トンネル亀裂等の災害が発生し、市民生活への影響はますます甚大となっている。本区間における道路の防災対策と急斜面地を管理する静岡県と連携した総合的防災対策について伺う。</p> <p>(2) 水道水源の保全に留意した森林施業について、上流部の森林管理・間伐等の森林施業によって水源を汚染しない、土石流等の災害を誘発しないように、水源保全を最優先にした対策・指導について伺う。</p>	高須土木部長 山下農林水産 担当部長
6 少人数学級編制について	<p>新型コロナウイルス感染症対策で3密にならない授業の工夫が行われているが、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 少人数学級編制は、新型コロナウイルス感染症対策のためにも、また、手厚く柔軟な教育のためにも有効である。本市では全国に先がけて30人学級（はままつ式少人数学級編制）を今年度から小学校3年生まで拡充したが、現状と今後の展開について伺う。</p> <p>(2) 少人数学級編制を実施していくためには、まず教員の確保が必要である。全国的な教員不足の中、教員免許更新制の在り方も問題だが、市の教員確保の取組について伺う。また、教室確保の方策についても併せて伺う。</p>	花井教育長
7 ごみ処理について	<p>(1) 廃プラスチック類の処理について。</p> <p>ア 今年度の容器包装プラスチックの収集状況及びコロナ禍における変化・対応はどうか伺う。</p> <p>イ 昨年5月20日、環境省は都道府県及び政令市に対して「廃プラスチック類等に係る処理の円滑化等について」の通知を出した。自治体が引き受けて焼却処分すること、広域的な処理の円滑化のための手続き等を合</p>	影山環境部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>理化すること等が記載されているが、この通知に対する市の基本姿勢を伺う。</p> <p>(2) 80万人の家庭ごみは、市に処理責任がある。また、ごみ減量化の方策として、80万人総参加の減量化運動は不可欠である。家庭系一般廃棄物回収の有料化については、主人公である市民の主体的参加による検討が必要だが、市民参加の方針を伺う。</p>	
<p>8 企業立地補助金について</p>	<p>(1) スズキ本社研究棟建設の企業立地補助金に関する法令違反問題の審査結果について伺う。</p> <p>(2) 市要綱の本年4月1日付一部変更の意義・目的について伺う。</p>	<p>長田副市長</p>